

宮川の風 第47号

平成30年5月25日（金）発行
宮川小学校校長室からのたより

高校生の9割、中学生も5割以上が所有するスマホ。会員制交流サイト（SNS）を使えば四六時中、友人らとつながる。県警によると、少年の刑法犯と不良行為は減り続けており、背景にスマホ普及による外出減少があるというのはうなずけた。

一方で、NPO法人ネットポリス鹿児島の戸高成人理事長は「ネット型非行」の増加を懸念する。いじめ、薬物、性被害…。顔の見えないネット上で、無自覚なまま有害情報を共有し、トラブルに巻き込まれる。

ネットトラブルは、プライバシーの関係で警察や学校は関与しにくく、保護者の役割が大きい。だが「知識が乏しいから」などと目を背けていないか。「スマホという道具の使い方ではなく、人として使い道を教えることが大事」と戸高さん。まず親子でルール作りから始めたい。

【2017.9.3 南日本新聞 編集局日記より】

親や教師が知らない（気付かない）うちに、子どもが大きなトラブルに関与しているケースが非常に多いのが現状です。関与の仕方はそれぞれです。加害者であったり被害者であったりします。見えないところで起きるさまざまなトラブルは、時に「いじめ」となって命をも奪う事件に発展してしまったケースも報道されてきました。それでも、どこか他人事のように受け止められているのではないかと思います。

裏面の記事をお読みください。県内の普通の高校生が陥った「依存症」です。既に小学生の段階から身近なところにネット環境がある子どもたちです。今のうちにしっかりと対処しておかないと、将来がとっても不安です。日曜参観日の講師は、記事中のネットポリス鹿児島の方です。9時から始まります。

子どもたちの健康状態を診るための検診が行われています。大切なことは検診後の対処です。昨年度は、むし歯の治療率の向上のために目標値を70%に設定して、さまざまな方法で治療を勧めてきました。保護者の皆さんの御理解をいただき、ぎりぎりの線で目標であった70%をクリアできました。学校歯科医の先生の話では、永久歯のむし歯も多くあるようです。今回の検診で治療勧告がありましたら、できるだけ早く専門医で詳しい検査や治療をしてください。よろしくお願いします。

ヘルメットを付けずに自転車に乗っている宮川の子もがいるようです。また、保険に加入していないまま自転車に乗っている状況もあるようです。このことについては、県の条例で定められていることです。自転車事故で1億円近い損害賠償が命ぜられた事例もあります。確実な対応をお願いします。

ある日のできごとから



私事ですが、自衛のためにドライブレコーダー（DR）を取り付けました。自動車保険の特約として加入したのですが、そのDRからメッセージが流れてきます。「安全運転が続いています。これからも優秀ドライバーを目指して安全運転に心がけてください」などと。

先日、帰宅途中の信号でのことです。きわどいタイミングで黄色に変わりました。そのまま走り抜けても何の問題もないタイミングではありましたが、念のために停車しました。急ブレーキほどではないにしろ、いつもよりは急な停車でした。すると…「ブーブーブー」と3回ほど警告音が…。帰宅してエンジンを切ると「今日は、急ブレーキに近い停車がありました。交差点では早めに速度を落としましょう」と。それでも安全運転が最優先です。お互いに、無事故・無違反でいきましょう。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）